

令和4年度第4回岡崎市地域包括支援センター・地域密着型  
サービス運営協議会会議録

1 日 時

令和4年12月19日（月）14：00～16：00

2 場 所

岡崎市福祉会館2階201号室

3 出席委員

柏原委員、鈴木正博委員、若山委員、鈴木基広委員、竹本委員、茂刈委員、小野委員、太田委員、平野委員、

4 欠席委員

なし

5 事務局

福祉部：小河部長

介護保険課：坂田課長、神尾副課長、細野主査、杉浦主事

長寿課：中根課長、藤谷副課長

ふくし相談課：齊藤課長、山下副課長、岩瀬係長、早川主査

6 傍聴者

なし

7 議 事

- (1) 認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）の新規指定について【非公開】

8 報 告

- (1) 令和5年度整備予定の地域密着型特別養護老人ホームの整備内容の一部変更について【非公開】

- (2) 地域包括支援センターの運営について【公開】

9 議事録（要旨）

－議事(1)について－【非公開】

－報告(1)について－【非公開】

－報告(2)について－【公開】

報告(2)について事務局から説明

柏原会長 何かご意見ありますか。

若山委員 これは国の基準ですか。

事務局 国の基準ではありません。市の基準です。

若山委員 企業努力をしているところに集中するのは不公平でしょうか。平等と公平は異なると思います。前回は指摘したと思いますが、いかがですか。

事務局 国の通知の中で、地域包括支援センターは公正中立性を求められています。

若山委員 企業努力の評価はしているのですか。

事務局 企業努力の評価はしていません。

若山委員 公正中立性であれば、数ではなくて企業努力の評価をするべきではないのですか。

事務局 一つの目安として介護保険の集中減算の基準は80%です。

若山委員 国の基準ではないのであれば、変えるべきであると前回、前々回も意見しています。県や国に意見をしているのでしょうか。

柏原会長 以前から評価をしていて、へき地にどう事業所を参入してもらうか、介護保険事業計画にインセンティブや事業評価をどうするかという議論もあると思いますが、毎回課題を上げましょうというところで報告いただいていると思います。良いサービスをしているところに優先的にマネジメントしているのと仕方なくマネジメントしているのは違うと思います。今後サービスが足りないとなったときに、インセンティブをつけるとか優先的にサービスの調整をしたということについて分かるようになると、良いと思います。

若山委員 国にも他の委員会にも上げていないというのはおかしいと思います。

柏原会長 この協議会は地域密着型と包括ということで限界もあると思います。市には、本協議会を上手く使って意見をもらってほしいですし、良い事業者をどのように評価していくのかというのは議論していただきたいです。事業所を増やすということについてこの協議会では限界がある、計画を作る、人材確保について違うところで議論してほしいと思います。

事務局 来年度に基準を改正したいと考えています。国の基準はありません。ヘルパーの受け手がないという状況です。訪問介護の基準を通所介護並みに変更したいと考えています。国の集中減算の基準である80%以下の通所介護並みの70%程度に設定したいと考えています。

柏原会長 質については数字で表すのは難しい、仕方なく偏っているのか、良いサービスだから偏っているのか数字で判断できないのではないかと、地域性もあると思います。

行政としては、新規に立ち上げられた事業所は営業も大変だと思いますので、情報提供を定期的にする事で包括のマネジメントが助かるのではないかと思います。

事務局 現状、要支援、予防の訪問介護は事業所に受けていただけない、何件も当たって受けていただいているのが現実です。件数として上がっているのは、引き受け手があるので良いのですが事業者が見つからない場合は、プランが作成できていないという現実があります。新規の事業所については、毎月確認をしていて、新しい事業所が立ち上がれば包括はすぐに連絡しています。

柏原会長 住民参加型でやれるような支援をしていくというのも検討していかなければならないと思います。

事務局 毎年事業計画をご覧いただいていると思いますけれども、200以上のごまんぞく体操を立ち上げ、ヘルパーだけでなく移動販売や買い物バス、住民団体、NPO、市民活動団体も含めた取り組みを協議体の中で推進しています。

柏原会長 その取り組みで十分であれば良いですが、足りないということであれば、報告だけでなく議論できると良いと思います。

若山委員 大変苦勞していることはわかります。皆を平等にするから苦勞するわけで、良いサービスにインセンティブをつけて努力したところが潤うようにすべきです。

柏原会長 今後さらに厳しくなっていくときに、本協議会でなくてもいいので議論が必要だと思います。

事務局 公平の評価は難しいと思いますが、やっていかなければならないというのは理解します。供給体制について、情報の共有、総合事業の充実を進めていきたいと思います。来年度、介護保険事業計画策定の中で議論していきます。

柏原会長 岡崎市は、圏域が広く人口が多いので地域性があり、どう事業運営し支援していくのかを議論すると良いと思います。